※令和３年度以前入学生用

学校番号	3018

令和５年度　福祉科

教科	福祉	科目	生活支援技術 (分野：生活支援技術)	単位数	４単位	年次	３年次
使用教科書	「生活支援技術」　（実教出版）						
副教材等	「見て覚える介護福祉士国試ナビ」（中央法規） 「介護福祉士重要過去問　完全マスター問題集」（ナツメ社）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

介護を必要とする人の自立した生活を支援するための安心・安全な介護技術を学び、施設実習やボランティア活動を通じて実践力を高めていきます。３年生では、利用者一人ひとりの状態や生活状況に応じた具体的な介護場面を想定した介護技術を学ぶことで、介護福祉士として必要な実践的な介護技術と知識を育みます。

①介護を必要とする人の生活場面に応じた介護技術の方法について興味や関心を持って授業に取り組み、介護技術の演習やグループワークなど、積極的に参加しましょう。

②国家資格である介護福祉士の受験資格を取得するために必要な科目です。

③介護福祉士の合格をめざして主体的に家庭学習を行い、単に知識を身に付けるだけではなく、実践的で体験的な学習活動で得た知識や技術を活用して、介護現場の状況に応じた判断力と実践力を身に付けましょう。

２　学習の到達目標

自立を尊重した生活を支援するための介護の役割を理解させ、基礎的な介護の知識と技術を習得させるとともに、様々な介護場面において適切かつ安全に支援できる能力と態度を育てる。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	介護を必要とする人の生活場面に応じた介護技術の方法について関心を持ち、介護を必要としている人の気持ちに寄り添った援助ができるよう、主体的に取り組むとともに実践的な態度を身に付けている。	高齢者や障がい者など介護を必要とする人の生活における諸問題の解決に向けて思考を深め、基礎的な知識と技術をもとに、福祉に携わる者として適切に判断し、表現する創造的な能力を身に付けている。	介護を実践する際に必要な尊厳の保持や自立支援の観点に立った基礎的・基本的な技術を身に付け、根拠にもとづいて安全に支援できる技術を適切に活用している。	介護を必要とする人を生活の観点からとらえた基礎的・基本的な知識を身に付け、高齢者や障がい者の尊厳保持や自立支援による適切かつ安全な介護の基本を理解している。
評価方法	・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・定期考査 ・学習状況の観察 ・グループワーク ・ワークシート ・発表	・実技演習 ・グループワーク ・発表	・定期考査 ・小テスト ・ワークシート

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期 2学期	自立に向けた生活支援技術	第2編　自立に向けた生活支援技術 第9章　レクリエーションの支援 1　レクリエーションの意義と目的 2　レクリエーションにおける介護技術 3　介護現場におけるレクリエーションの実践	○	○	○ ○	○	a:レクリエーションに興味や関心を持ち、生きがいや自己実現、ＱＯＬの向上につながるレクリエーションについて探究しようとしている。 b:利用者の状態や状況に応じたレクリエーションを考察し、介護従事者として必要な対応について表現することができる。 c:班で１つのレクリエーションを考え、介護場面における介護従事者としての支援方法を身に付けている。 d:レクリエーションの意義や介護予防における留意点を理解している。	・学習状況の観察 ・学習プリント ・ワークシート ・グループワーク ・実技演習 ・定期考査
	終末期・緊急時の介護	第3編　終末期・緊急時の介護 第1章　終末期の支援 1　終末期ケアの意義と介護の役割 2　終末期における介護技術 第2章　緊急時・災害時の支援 1　緊急時における対応 2　災害時における安全対策	○	○	○ ○	○ ○	a:終末期や緊急時の介護に興味や関心を持ち、その意義と介護従事者としての役割について探究しようとしている。 b:終末期や緊急時の介護の在り方について思考を深め、適切に表現している。 c:終末期や緊急時の介護に関する基礎的な知識を踏まえ、最期までその人らしく生きられるよう支援するための技術や緊急事態における対応や応急処置に関する技術を身に付けている。 d:尊厳を保持した終末期の介護や日常生活における事故の予防、終末期や緊急時の介護の在り方や対応について理解している。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・グループワーク ・定期考査

※令和３年度以前入学生用

3学期	国家試験問題　生活支援技術	国家試験問題:社会の理解 1　生活支援 2　自立に向けた居住環境の整備 3　自立に向けた身じたくの介護 4　自立に向けた移動の介護 5　自立に向けた食事の介護 6　自立に向けた入浴・清潔保持の介護 7　自立に向けた排泄の介護 8　自立に向けた家事の介護 9　自立に向けた睡眠の介護 10　終末期の介護	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	a:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである生活支援技術について、興味や関心を持って取り組んでいる。 b:国家試験の事例問題について、３年間学習してきた知識や技能を使って思考を深め、適切に表現している。 c: 国家試験問題について過去問題を収集し分析して、適切に活用している。 d:介護福祉士の国家試験の出題範囲の一つである生活支援技術について、専門的な知識を理解している。	・学習状況の観察 ・ワークシート ・定期考査

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。